

第 1 6 5 回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

令和 4 年 9 月 1 5 日（木）

沖 縄 総 合 事 務 局

第 1 6 5 回 沖 縄 地 方 交 通 審 議 会 船 員 部 会

日 時 令和 4 年 9 月 1 5 日 (木) 1 1 時 0 0 分
場 所 沖 縄 総 合 事 務 局 5 階 「 海 技 試 験 室 」

出席者：

公 益 委 員	上原委員、赤嶺委員、豊川委員、大城委員
労 働 者 委 員	柴田委員
使 用 者 委 員	宮城委員、桃原委員、亀谷委員

沖 縄 総 合 事 務 局	古謝船舶船員課長、 山口海事振興・防災危機管理調整官 比屋根課長補佐
---------------	--

議 事 次 第

○開 会

○議 事

1. 第 1 6 4 回 船 員 部 会 の 議 事 録 承 認 に つ い て
2. 管 内 の 雇 用 状 況 に つ い て
3. 船 員 の 最 低 賃 金 の 改 正 に 関 す る 諮 問 に つ い て
4. 意 見 交 換

○閉 会

(配 付 資 料)

- 資料 1. 第 1 6 4 回 船 員 部 会 の 議 事 録 (案)
- 資料 2. 船 員 職 業 紹 介 実 績 等 一 覧 表 (令 和 4 年 8 月 分)
- 資料 3. 事 業 者 向 け WEB 説 明 会 (船 員 の 働 き 方 改 革 ・ 健 康 確 保)
- 資料 4. 船 員 の 最 低 賃 金 の 改 正 に 関 す る 諮 問 に つ い て

上原部会長

委員の皆様、こんにちは。数名の委員の皆さんが遅れるようすけれどもお時間となりましたので、第165回船員部会を開始させていただきます。

まず初めに、本日の委員の出席状況と配布資料の確認を事務局からお願いいたします。

事務局（比屋根補佐）

本日は、公益委員3名、労働者委員1名、使用者委員2名が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定による定足数を満たし、本部会が有効に成立していることを御報告させていただきます。

続きまして、今回の船員部会の配付資料を確認させていただきます。

（配付資料の確認）

上原部会長

ありがとうございます。

それでは、早速議事に入ります。第164回船員部会の議事録承認について、前回の議事録が配布されておりますが、何か意義のある方いらっしゃいますでしょうか。

それでは、議案のとおり承認とさせていただきます。ありがとうございました。

続いて、議事の2「管内の雇用状況」について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局（比屋根補佐）

令和4年8月分の管内雇用状況等の概要について御報告いたします。

●求人状況について

新規求人数は5件でした。

前月に比べ9件減少、また、前年同月に比べ8件減少となっております。

月間有効求人数は20件でした。

前月に比べ3件増加、また、前年同月に比べ2件増加となっております。

月間有効求人数の内訳は、商船等20件となっております。

月末未済求人数は20件でした。

●求職状況について

新規求職数は9名でした。

前月と比べ1名減少、また、前年同月と同数となっております。

新規求職数の内訳は、商船等 9 名となっております。

● 新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

8 月の新規求職者 9 名の退職理由は、自己都合が 5 名、会社都合 1 名、海上勤務中の現職が 2 名、陸上勤務中の現職が 1 名となっております。新規求職者が所属していた会社所在地は、管外が 1 名、管内が 8 名となっております。

● 求職状況について

月間有効求職数は 29 名でした。

前月に比べ 7 名増加、また、前年同月に比べ 9 名増加となっております。

月間有効求職数の内訳は、商船等 29 名となっております。

月末未済求職数は 25 名でした。

● 成立状況について

8 月の成立は 1 件でした。

● 求人倍率について

8 月の月間有効求人倍率は、0.69 倍でした。

前月に比べ 0.08 ポイント増加、前年同月に比べ 0.21 ポイント減少となっております。

● 失業等給付支給内訳について

基本手当受給者実人員は 6 名、支給延べ件数は 6 件です。

基本手当支給額は、1,020,732 円でした。

その他、高年齢求職者給付金の支給があり、漁船で、338,000 円、総支給額は 1,358,732 円でした。

以上、管内雇用等状況の概要の説明を終わります。

上原部会長

ありがとうございます。

ただいま事務局から説明がありましたが、何か御質問等ありますでしょうか。

柴田委員

よろしいでしょうか。

資料 2 の 7 ページのグラフですけれども、今回、月間有効求職数 29 件になっています。この数字自体がどうという話ではないですが、沖縄の船員部会の資料では、大体 1 倍切るか 1 倍ぐらいになっていると思います。

この求職数は、昨年の秋口や今年の４月にも２９件となっており、求職数自体がちょっと増えているように説明を聞いて思ったのですが、前回の南西海運さんの新造船の就航もあって求人が増えたなど何か傾向がありますか。

今回３０件近くになってきたので、求職者の年代等最近の傾向があれば教えていただければと思います。

事務局（比屋根補佐）

個人的には、雇入の届出手続きを含め傾向としては作業船やタグボート等の求職が多いという実感はあります。

求職者が来られた際には、私のほうも求人者の情報をお伝えし、すぐに紹介状を作成する等、ご案内させていただいております。

ただ、求職者の中には、この会社は休みが少ないとか、条件が合わないこともあります。こちらのシステムで求人情報を探していただいておりますが、中には知人友人から紹介等を受けたりしている方もいらっしゃいます。

柴田委員

この数字に反映されているかどうかは分かりませんが、僕が聞いている話だけでも、船員の引き抜き合いというか、沖縄県内のみならず県外の企業から、幾らで雇用するとか引き抜き合いが激化しているのかなと思います。

特に最近では、離島の航路とかも他業種のライバル会社というか、同じ船だけど違う会社に入材が流出するなど、問題意識を持っておかないと、離島航路の場合は生活航路ですので、人材不足が原因で運航見合わせや停止してしまうことも考えられます。

また、台風が３週連続来ていますよね。どうにもならない状況にプラスして、こういう労務・人材問題とかも併せて考えて安定的な輸送を実施しなければなりません。

例えば、この求職も、作業船を希望されている人は作業船を紹介するのは良いと思いますが、これだけ求職の方がおられるのであれば、離島航路も気に掛けながら案内してみるのも良いのではと個人的には思うところです。

以上です。

上原部会長

ありがとうございました。

そのほか質問のある方いらっしゃいますか。

よろしいでしょうか。

それでは、次の３番「意見交換」に移りたいと思います。どなたか何か御発言等ありますでしょうか。

柴田委員

先程も少し触れましたが、台風が今週末も接近していて、３週連続

になります。現地の方々が一番不安を感じていらっしゃると思いますが、沖縄はどうしても台風から逃げられない地域になり、また、これからは異常気象によって、大型の台風や今回のように連続で来ることも考えられます。

このような場合、離島航路を抱えている久米商船さん、先島に行かれている琉球海運さんのほうで、安定的な輸送のため、いろいろアイデア、意見があると思いますが、少し教えを聞かせていただきたいと思います。

宮城委員

私からよろしいでしょうか。

台風については、人間の力ではどうしても制御できないところですよ。台風の中で船を運航させるわけにもいかないし、やっぱり船は安全が第一ですので、連続してきたから特にこれに対してどう対応するという事は船会社の力の限界というのがあると思います。

ただし、沖縄は離島県ですので、特に先島においてはある程度の物資をストックして集積できるような施設の整備、こういったものはあらかじめ用意しておく必要があるのではないかなと思いました。

これからまたコロナが終息した後、インバウンドを中心に旅行客が増えると考えています。

現地の皆さんもそうですが、台風が連続して襲来したときには旅行者の皆さんが台風の影響で離島から出られず食料が少なくなるといったことが必ずしも全くないとは言えないと思います。そういったことについては、現地でストックできる施設の整備といいましょうか、そういったものが必要かなと思います。

これらについてはあくまでも安全基準に沿って運行ということですので、無理に運行させるはいけません。自然の驚異の中で我々ができるというのはそのぐらいかなと思います。

柴田委員

このストックについてですが、天候等で船を運航するには限界があるので、これは宮城委員の会社で独自でやるというよりも、例えば宮古島市、石垣市のほか県ももちろん離島の住民の安定的な生活環境のためタイアップしながらこういう倉庫等を積極的に支援するといったような話がありますか。

宮城委員

まずは公共施設をしっかりと整備してもらおうというのが第一です。それに足りない分については我々民間がいろいろ保管していくというよ

うな形でできていますし、これからそういう方向で進めていきたいと考えています。

柴田委員

例えば、大型スーパー等の商業施設ができれば、それが地域の活性化につながっていく。その分大きいストック場所というか、倉庫がもちろん必要になってくると思いますが。

宮城委員

そうですね。当然需給との関係で、今までとは違って宮古島、特に石垣島の人口が移動人口というか旅行人口、それが増えればそれだけ需要が増えるわけですね。

当然そういう施設も必要になってくると思います。まずは、市と県、もちろん国もそうですけれども、その辺にお願いしてその辺の整備をしっかりと整えてもらう。同時に足りない分がありますから、我々のほうでまたそれを補強していくと、現に宮古ではそういう方向で我々も一定の立場を確保しております。

並行的に宮古の港のほうにもそういう計画がありますので、それをにらみながら我々がどういったものができるのか、今計画を着手して進めている最中です。

上原部会長

桃原委員、意見ございますか。

桃原委員

私共の離島（久米島）に関しましてもあまり長く船が止まると、確かに物資等々困るところはありますが、今のところは現時点ではまだそこまでは至っていません。

今後、町民の方や事業者のほうから要望があれば町役場や沖縄県にお願いしまして、そういった倉庫等々は必要になってくるかもしれませんが、今のところはまだ大丈夫です。

柴田委員

現状、データをお持ちであればですが、例えば何日間船が入出港できなければ供給不安という話がありますか。

桃原委員

久米島町に関しましては、具体的にそういうお話はしたことはないのですが、感覚的にはやはり5日以上。

今はコンビニやスーパーがあつたりしますが、皆さん備蓄はされているなか、カップラーメンだけではなくて生鮮食品を食べたいとか、そういったものもありまして、4日、5日止まると少し不満がでてきます。

他の航路であれば大東島でも6日も運航できないと新聞に載ったりしますね。

柴田委員

久米島町は、ストックの施設や工場、倉庫の話はありますか。

桃原委員

まだそこまでの話はありません。

上原部会長

そのほか何か意見のある方いらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、「意見交換」はこれにて終了させていただいて、続いて事務局から連絡事項がありますのでよろしくお願いいたします。

事務局（古謝課長）

資料3について、ウェブ説明会について御紹介したいと思います。「船員の働き方改革」に向けて、令和4年4月に改正船員法が施行されまして、船舶所有者に労務管理責任者の選任等が義務づけられたところですが、加えて、来年の4月には、産業医の選任等の船員の健康確保に関する制度の導入、それから操練・当直交代が労働時間規制の対象となる制度の見直しが行われることになるということで、下記のとおり、本省でオンラインの事業者向け説明会が開催されますので、この場を借りて御紹介したいと思います。

なお、管内事業者への周知につきましては、船員災害労働安全衛生月間の周知文書に同封しまして、このチラシを150事業者へ周知しています。併せて、旅客船協会及び地内航へもご案内し、当局のホームページにも「お知らせ」として掲載しておりますので、関心等ございましたらぜひ、申込みが必要になりますのでよろしくお願いいたします。

資料3については以上となります。

上原部会長

ただいまの説明について何かありますか。柴田さん。

柴田委員

特にございません。事業者向けの説明会ですよ。

上原部会長

こちらの受講は、事業者の義務ではございません。

ただ、船舶所有者に労務管理責任者の選任が義務づけられたところから、できるだけ多くの事業者に行っていただきたいので、その辺は周知の在り方を検討していただければと思います。ありがとうございます。

それでは次回の開催について、事務局から連絡をお願いいたします。

事務局（比屋根補佐）

10月の船員部会は、10月20日金曜日、11時より開催いたしますが、また海技試験の関係で会場が確定していない状況です。

後日、改めて案内文書で通知いたしますので、出席できない場合は事前に事務局まで御連絡いただければと思います。

また、今回の議事録案は後日メールで照会させていただきますので、よろしくお願いします。

上原部会長

ありがとうございます。

それでは、以上もちまして、本日の船員部会を終了させていただきます。ありがとうございます。